

おかあさんありがとう

ありむら
有村 華音かのん

7がつ30にちのあさ、おとうとのみなとがうまれました。びょういんにつくと、おなかがべったんこになったおかあさんと、みなとがいました。わたしは、みなとのでをさわり

「わたしがおねえちゃんだよ。」
といました。

みなとをだっこすると、てあしもちいさくて、ほっぺがあかく、おもちよりやわらかくてすべすべもふもふしてました。でも、「あかちゃんのあたまは、ほねとほねがつながってなくて、ぶよぶよだからさわらないよ。」

とおしえてもらいました。わたしは、みなとをすつとだっこしたいとおもいました。

つぎのひ、びょういんにいくと、みるくをあげるところでした。わたしはみなとをだっこしてみるくをのませました。すぐのにおわり、まだほしそうなおをしたので、まだたくさんあげたかったです。そのあと、わたしにはむずかしいので、おかあさんがげっぷをさせると、みなとはくろいみどりのべたべたしたうんちをしました。たいべんといって、おかあさんのおなかのなかからでてきたうんちで、みるくをのむときいろくなるそうです。

つぎのひ、みなとは、ばすたおるでぐるぐるまきで、おにぎりみたいにすやすやねていました。

「あかちゃんは、おかあさんのおなかのなかでまるまわっているから、こうしているとあんしんしておちつくんだよ。」
と、おしえてくれました。わたしがだっこしてもおきなかったの、ばすたおるをはがすとみなとはなきだしました。

5にちめ、びょういんで、おいわいのおしよくじがありました。わたしは、

「おかあさん、かわいいみなとをうんでくれてありがとう。」
おばあちゃんたちは、

「おめでとう。おつかれさま。」
といつて、かんばいしてしよくじをしました。とてもおもしろかったです。でも、そのひみなとは、おうだんのちりようには

いっていたので、あえずにざんねんでした。

さいしゅうび、おかあさんとみなとがいえにかえってきました。いとこたちは、みなとにあいたがっていたので、すぐにあいにきて、

「みなとは、かのんにそっくりでとてもかわいいな。」
といました。うれしかったです。

むかしのしゃんをみると、ほんとうにそっくりで、びつくりしました。

これから、4にんでなかよく、たのしくくらしていきたいです。